

プログラム名 (40字以内)	ふじのくにの里山 - 植物と昆虫のつながり		
団体名/所属	認定特定非営利活動法人アースウォッチ・ジャパン		
活動区分	ボランティアなどの社会貢献活動, 農林水産業などに関わる地域体験活動, フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	書類審査のみ
募集人数	2人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	現地活動のみ		
参加者に求めるもの	安全に配慮してフィールドワークを楽しむこと。専門的な知識やスキルは不要です。		
活動期間	2026/9/5(土)～9/6(日)	主な活動予定場所	静岡県静岡市
プログラム実施の目的	静岡県は、フォッサマグナ地域に位置し、多様な生物が生息する豊かな自然環境を有しています。一方で、高度経済成長以降の都市開発により、身近な自然環境の減少や生態系への影響が懸念されています。本プログラムでは、日本平(有度丘陵)をフィールドとして、昆虫の調査を通じて都市近郊に残る生物多様性の実態を明らかにします。参加者は、植物と昆虫のつながりや、在来種・外来種が生態系に与える影響などを学びながら、人間活動と自然環境との関係を科学的に考察します。身近な自然に潜む価値や将来のリスクを理解し、地域の自然と共生する社会のあり方について考えることを目的としています。		
具体的な内容(800字程度)	本プログラムでは、静岡県立ふじのくに地球環境史ミュージアム教授・主任研究者の岸本年郎先生の指導のもと、昆虫の採集から分類、標本整理までの一連の調査プロセスを体験します。岸本先生は昆虫分類学を専門とし、長年にわたり昆虫に関する調査研究に従事されています。日中は昼行性昆虫の調査、夜間はライトトラップを用いた夜行性昆虫の観察を行い、多様な昆虫相を把握します。午前中には昆虫の分類や標本整理の基礎を学び、その後、野外において虫網や吸虫管、ピーティングなどの手法を用いた昆虫調査を実施します。採集した昆虫を実際に観察しながら、分類の基礎や同定の考え方を学ぶとともに、標本整理の実務にも取り組みます。さらに、昆虫を分類学上の目や科ごとに整理する作業を通じて、生物多様性への理解を深めます。調査方法は事前に指導するため、専門的な知識や経験は必要ありません。調査後には、里山環境の変遷や生物多様性に関するレクチャーを実施し、調査結果を地域の自然環境との関わりの中で考察します。 <調査プログラム解説書 2025(参考)> https://www.earthwatch.jp/doc/briefings/briefing_fujimuseum_2025.pdf		
【総額】参加するための費用	約30,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	自身で用意する宿泊施設にかかる費用 ※静岡駅周辺が便利です		
【内訳】参加するための費用(交通費)	自宅から調査地までの往復交通費 <参考> ・東京駅—静岡駅(新幹線) ・静岡駅前—ふじのくに地球環境史ミュージアム(バス) 往復 約12,000円～13,000円 ※利用時期・予約条件・経路により金額は変動します。		
【内訳】参加するための費用(その他)	参加費:3,000円 食事代:5,000円程度		
奨励金額(予定)	15,900円		
備考	プログラム概要 https://www.earthwatch.jp/?product=fujimuseum		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	過去の調査報告は、こちらからご覧いただけます。 https://www.earthwatch.jp/annual_report/		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体で応募の場合)	https://www.earthwatch.jp		
この企画に対する担当者(応募団体)の参加の有無	参加しない		